

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	比較美術論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	橋富博喜						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西洋および日本美術史の大きな流れを記述できる。</li> <li>・それぞれの時代の芸術的思潮を説明できる。</li> <li>・著名な作品について、作者、制作年、特徴、影響関係を説明できる。</li> <li>・文化の受容について理解し、説明できる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の概要の説明、成績評価法  第2回：西洋美術概説（中世）  第3回：同（近世）  第4回：同（近代）  第5回：ジャポニスム その1  第6回：ジャポニスム その2  第7回：ジャポニスム その3  第8回：フランス印象派  第9回：世紀末美術  第10回：黒田清輝とフランス その1  第11回：黒田清輝とフランス その2  第12回：青木繁とイギリス その1  第13回：青木繁とイギリス その2  第14回：近代日本画のなかの西洋  第15回：近代工芸と西洋  定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	40%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	全体として講義の概要は話すことができたと考えている。個々の問題について、もう少し詳細に講義することが必要だが、すこし時間が足りなかったように思う。全体として85%の達成度かと考える。						
反省点	もう少し美術史の詳細な内容に入っていけたらと考えている。						
来年度の計画	全体としては今年度と同じようにすすめていくが、適宜詳細な内容についての講義を加えていきたい。写真をもう少したくさん使うことを考えている。うまく時間の調整が必要であるが。						
授業評価アンケートに対するコメント	わかりやすかったというのと、難しいという評価がありました。できるだけわかりやすくというのを念頭にかけ講義していますが、問題の詳細なところではすこし難しくなるのかもしれませんが。これらについても「わかりやすく」ということを心がけていきます。						
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	36名	合格者数	33名	合格率	92%